

特定非営利活動法人日本ネイリスト協会

第16回（2021年度）通常総会

仲宗根幸子 理事長 開会の挨拶

本日、ここに第16回（2021年度）日本ネイリスト協会の通常総会を開催いたします。昨年に引き続きオンラインでの開催となり、何かとご不便をおかけしますが、多くの会員の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、1年半以上に亘るコロナ禍の中で、通常の協会活動がままならない状態が続き、会員の皆様にはいろいろご不満もあったと思いますが、変わらぬご支援ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

協会では、理事会とD12会議を隔月で開催しておりますが、これらもこの一年はオンラインでの開催となっておりますが、会議の度に、今、会員の皆様に何をして差し上げられるのか、長いコロナ禍で疲弊された皆様のお気持ちに、どの様に寄り添ったら良いのかということ、毎回真剣に検討して参りました。“ピンチがチャンス”という言葉もありますが、不安と不自由の中で過ごされている皆様に、その様な軽々しい言葉をかけることは出来ません。しかし、その不自由な中だからこそ、新しいことにチャレンジ出来るチャンスではないかとも思っています。

協会は、美容業界の中でもいち早く感染症対策のガイドラインを策定して発信し、常に最新の内容に更新して参りました。また、認定講師の皆様には大変ご苦勞をおかけしていますが、できる限りの感染対策を講じて受験を希望する皆様のために検定試験を実施しています。また、オンラインではありますが、昨年中止したアジアネイルフェスティバルの開催を決定し、参加者のご負担を軽減するためにオンラインでのコンテストを企画して募集したところ、通常と同様に多くの方たちからお申込みをいただきました。まずはこれを機にネイリストの方たちに、少しでも元気になっていただければと思います。

昨年10月に亡くなった瀧川晃一最高顧問・理事は、ビューティー産業の担い手は技術者であり、技術者の育成そして地位の向上が産業の未来につながると常におっしゃっていました。コンテストはまさに教育の場であり育成の場です。この不安な状況においても、たくさんのお申込みをいただいたコンテストは、ネイリストの皆さんを元気づけることはもちろん、この業界そのものを元気に牽引してくれるものと思います。

まだまだコロナ禍が続く中で、暗いトンネルの中にワクチンという一筋の光明が見えて参りましたが、それに油断したり安心することなく、会員の皆様に、協会の理念を見える形で示していける様、真剣に取り組んで参りたいという覚悟でおります。

新型コロナウイルスは、人と人との間隔を空けるソーシャルディスタンスという新しい言葉を教えてくれましたが、もう一つ、“人への思い”と“絆”をさらに強くしてくれたのではないかと思います。日本ネイリスト協会はこれからも会員の皆様、そしてネイルに従事する皆様の心に寄り添った在り方を目指していきたいと思っております。

今私は、カメラに向かって語っておりますが、カメラの向こうに皆様がいらっしゃることを実感しています。来年の総会は、ぜひ直接皆様の元気な顔を見ながら開催し、また懇親会も楽しく出来たらと思っております。あと少しご苦勞を共にしながら進んで参りたいと思っておりますので、今までと変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本日はお忙しい中、多数のご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。